

## 日欧の昔話の認知度（1）

### —短期大学生の学年別検討—

向 田 久美子

## The Extent to Which Japanese Students Know Japanese and Western Folktales (1): A Comparison of Junior and Senior Students of Junior College

Kumiko MUKAIDA

本研究では、保育を専攻する短期大学生 224 名を対象に、日本の昔話 81 話とグリム童話の 63 話について、認知度のアンケート調査を行った。その結果、日本の昔話では「桃太郎」、「浦島太郎」、「さるかに合戦」、「花さかじいさん」、「つる女房」、「かさじぞう」、「かちかち山」、「こぶとりじいさん」、「一寸法師」、「舌切りすずめ」が上位を占めていた。グリム童話では「白雪姫」、「赤ずきん」、「おおかみと七ひきの子やぎ」、「シンデレラ」、「ヘンゼルとグレーテル」、「ブレーメンの音楽隊」、「いばら姫」、「ラプンツェル」、「かえるの王さま」、「こびとと靴屋」が上位を占めていた。昔話の認知度と子ども時代に昔話を読んでもらった体験、自分で読んだ体験は弱いながらも関連しており、昔話に触れる機会が多かった人ほど認知度が高い傾向が見られた。学年別の検討では 1 年生よりも 2 年生のほうが認知度が高い傾向にあり、大学での学びや実習体験が昔話の認知度に影響していることが示唆された。

キーワード：昔話、認知度、短期大学生、保育、文化

### 問題

筆者はこれまで、認識や行動を方向づけるスクリプトが文化的に異なる特徴をもつことを明らかにしてきた (Mukaida, Azuma, Crane & Crystal, 2010; Mukaida, Crystal & Azuma, 2011)。日中米の大学生の過去や将来についての語りを比較検討した結果、日本では具体性と主体性に欠け、行動や結果よりも状況や内面を綴る「川の流れ」パターンが、中国では具体的な方略を明示し、苦楽を伴いながら上昇をめざす「山道」パターンが、アメリカでは否定要素が少なく、肯定的な結末を語る「ハッピーエンド」パターンがそれぞれ優勢となっていた。しかしながら、こうした文化的スクリプトがどのように個人に内面化されていくのかについては、まだ十分な検討がなされていない。

文化的スクリプトの獲得に関与する要因のうち、具体的な資源として考えられるのは、絵本 (Tsai,

Louie, Chen & Uchida, 2007) や教科書 (塘・真島・野本, 1998)、小説や映画 (高橋, 1999; 2000)、TV ドラマやニュース (東, 1994) といった種々の文化的テキストとそこに描かれる物語であり、具体的な実践としては、家庭におけるコミュニケーションや保育・学校教育、メディア利用等が挙げられる。本研究では、先行諸研究に基づき (McClelland, 1961; Tsai et al., 2007)、スクリプトの獲得プロセスには子ども時代に聞く物語の内容や解釈が影響すると考え、昔話を題材として取り上げることにした。昔話については、近年読まれ (語られ) なくなっているという報告もあるが (水野・徳田, 2010; 徳田・水野, 2010)、文字のない時代から語り伝えられてきた長い歴史をもつことに加え、古典文学のように直接読まれずとも、新しい作品の創造にインスピレーションを与え続ける役割を担っているとも考えられ、その影響力は決して小さくないと思われる。

昔話に関するこれまでの研究では、「シンデレラ」のように世界中で共通した物語がある一方（鈴木, 2004）、文化による違い、例えば日本では結婚によるハッピーエンドが少ない（河合, 1982; 小澤, 1999）こと等も指摘されている。筆者が人々の語りとの関連を探究した予備的分析では（Mukaida, 2010; 2011）、日本の昔話に見られる終わりのあいまいさや話の短さが日本人大学生の語りの特徴と共通している一方、ヨーロッパの昔話に見られるハッピーエンドや個人の主体性の強調が、アメリカ人大学生の語りの特徴と連動していることが見出されている。

本研究の最終目標は、各文化圏の代表的な昔話を抽出し、内容分析により優勢なプロットを抽出し、それらのプロットが、個人が自分の人生や特定の出来事について語るときの語り口（スクリプト）とどのように関連しているかを明らかにすることである。本稿では、まず手始めに、日本とヨーロッパの代表的な昔話の抽出を行った結果を報告する。具体的には、複数のアンソロジーから昔話のリストを作成し、どの昔話がよく知られているかについて、短期大学生を対象に調査を行い、学年別に比較検討を行った。学年別に比較したのは、対象学生が保育を専攻しており、大学での学びや保育現場での実習体験が昔話の認知度に影響している可能性があると考えられたからである。なお、ヨーロッパの昔話については、最も作品数が多く、日本でもよく知られているグリム童話を対象とした<sup>注1</sup>。

## 方法

- 1) 調査協力者・・・駒沢女子短期大学保育科1年生126名と2年生98名（計224名）。全員女性で、平均年齢は1年生  $M = 18.86$  ( $SD = 1.14$ )、2年生  $M = 19.85$  ( $SD = 0.54$ ) であった。
- 2) 調査時期と調査方法・・・2012年1月に、授業時間を利用して質問紙調査を実施した。
- 3) 評価対象作品・・・日本の昔話については、こぐま社の『日本の昔話①～③』（1995）とTBSブリタニカの『日本名作絵本』シリーズ（1993）に掲載されている81話を取り上げた（表1参照）。グリム童話については、こぐま社の『グリム童話①～⑥』とTBSブリタニカの『世界名作絵本』シリーズ（1993）に掲載されている63話を取り上げた（表2参照）。
- 4) 質問内容・・・上記の144作品に対し「聞いたことがない（知っているかどうか判断できない）」、「聞いたことがある（タイトルは知っているが内容はわからない、もしくは忘れた）」、「よく知っている（だいたいの内容がわかる）」のいずれかに○をつけてもらった。その他、「子ども時代に昔話を読んでもらったことがある」「子ども時代に自分で昔話を読んだことがある」の2項目について、「全くない」、「ほとんどない」、「少しある」、「ときどきある」、「よくある」の5段階で評定してもらった。最後に、リスト以外の昔話でよく覚えている作品を自由に列挙してもらった。

## 結果

### 1) 日本の昔話

表1に示すのが、日本の昔話81作品を認知度が高い順に並べ替えた結果である（値が3に近いほどよく認知されていることを示す）。日本の昔話のうち、最もよく知られている作品は「桃太郎」であった。次いで「浦島太郎」、「さるかに合戦」、「花さかじいさん」、「つる女房」、「かさじぞう」、「かちかち山」、「こぶとりじいさん」、「一寸法師」、「舌切りすずめ」となっていた。その他、全81作品の平均値 ( $M = 1.37, SD = 0.16$ ) 以上の認知度を示した作品は、「雪女」、「うば捨て山」、「わらしべ長者」、「文福茶釜」、「三枚のお札」、「干支のはじまり」、「さる地蔵」、「はなたれ小僧」、「和尚さんと小僧」、「若返りの水」となっていた。

日本の昔話の認知度に学年による差があるかどうかt検定を行ったところ、「かちかち山」、「一寸法師」、「うば捨て山」、「大工と鬼六」、「鼻高たいこ」、「うぐいすの里」、「旅人馬」、「地蔵浄土」、「みそ買い橋」の9作品において、1年生よりも2年生のほうが認知度が高いことが示された ( $p < .05$ )。「三つの願い」に関しては2年生より1年生のほうが認知度が高くなっていたが ( $p < .05$ )、全体平均において学年差は見られなかった。

### 2) グリム童話

グリム童話の認知度の結果を表2に示す。最もよく知られている作品は「白雪姫」であった。次いで「赤

ずきん」、「おおかみと七ひきの子やぎ」、「シンデレラ」、「ヘンゼルとグレーテル」、「ブレーメンの音楽隊」、「いばら姫」、「ラプンツェル」、「かえるの王さま」、「こびとと靴屋」となっていた。その他、

表 1 日本の昔話の認知度

	全体 (n=224)		1 年生 (n=126)		2 年生 (n=98)		t 値
	M	SD	M	SD	M	SD	
61. 桃太郎	2.96	.27	2.97	.25	2.96	.28	0.25
30. 浦島太郎	2.92	.35	2.90	.40	2.95	.27	-1.11
35. さるかに合戦	2.84	.43	2.83	.46	2.87	.40	-0.72
25. 花さかじいさん	2.83	.42	2.79	.44	2.89	.38	-1.65
22. つる女房 (鶴の恩返し)	2.80	.56	2.83	.52	2.78	.60	0.66
24. かさじぞう	2.73	.49	2.70	.53	2.78	.44	-1.16
53. かちかち山	2.68	.56	2.58	.62	2.80	.42	-3.05 **
17. こぶとりじいさん	2.65	.55	2.63	.56	2.66	.54	-0.42
58. 一寸法師 (五分次郎)	2.61	.60	2.52	.67	2.72	.47	-2.57 *
10. 舌切りすずめ	2.49	.68	2.42	.78	2.58	.54	-1.76 †
44. 雪女 (雪おなご)	1.94	.78	1.95	.78	1.92	.80	0.32
41. うば捨て山	1.90	.84	1.76	.82	2.08	.82	-2.89 **
73. わらしべ長者	1.83	.78	1.80	.81	1.88	.75	-0.72
29. 文福茶釜	1.77	.77	1.79	.80	1.74	.74	0.39
27. 三枚のお札	1.69	.85	1.65	.88	1.73	.82	-0.73
66. 干支のはじまり	1.69	.85	1.75	.85	1.61	.86	1.17
8. さる地蔵	1.55	.65	1.57	.69	1.53	.61	0.46
48. はなたれ小僧	1.47	.61	1.52	.65	1.41	.53	1.42
60. 和尚さんと小僧	1.47	.67	1.52	.69	1.42	.64	1.08
67. 若返りの水	1.37	.63	1.32	.59	1.44	.67	-1.44
45. 貧乏神	1.33	.58	1.39	.63	1.27	.49	1.60
6. うりひめ (瓜子姫)	1.32	.54	1.32	.55	1.32	.53	0.02
20. 大工と鬼六	1.29	.63	1.21	.51	1.41	.74	-2.40 *
11. たかにさらわれた子	1.24	.46	1.22	.42	1.27	.51	-0.70
21. 牛方 (馬方) とやまんば	1.24	.57	1.28	.61	1.19	.51	1.26
14. 地獄から戻った男	1.23	.47	1.25	.47	1.21	.48	0.50
51. 三つの願い	1.21	.53	1.28	.61	1.13	.40	2.03 *
32. きつねとおおかみ	1.21	.47	1.17	.46	1.26	.48	-1.28
9. 夢見小僧	1.20	.44	1.23	.46	1.16	.43	1.09
55. 食わず女房	1.16	.46	1.17	.47	1.15	.46	0.22
18. 風の神と子ども	1.16	.42	1.17	.42	1.14	.43	0.44
23. 朝日長者と夕日長者	1.15	.44	1.13	.43	1.17	.45	-0.65
15. じいさんとカニ	1.15	.43	1.17	.45	1.12	.41	0.75
33. 聞き耳ずきん	1.14	.39	1.11	.34	1.17	.45	-1.17
54. 足折れつばめ	1.13	.40	1.13	.42	1.12	.39	0.08
42. たにし長者	1.12	.40	1.10	.37	1.15	.44	-1.07
75. へつぷりよめさま	1.12	.42	1.07	.34	1.17	.50	-1.82 †
13. 田の久	1.11	.36	1.14	.41	1.07	.30	1.30
38. 鼻高たいこ (おうぎ)	1.11	.40	1.04	.23	1.19	.53	-2.90 **
3. うぐいすの里	1.10	.32	1.06	.24	1.15	.39	-2.10 *
12. 三人兄弟	1.10	.33	1.10	.33	1.09	.32	0.26
59. おつば (しつば) の釣り	1.09	.36	1.06	.29	1.14	.43	-1.79 †
52. 天福地福	1.09	.33	1.08	.30	1.09	.36	-0.33
71. 命のいずみ	1.08	.31	1.06	.28	1.11	.35	-1.17
47. うさぎとひきのもち争い	1.08	.35	1.09	.34	1.08	.3	70.12
26. みょうが宿	1.08	.32	1.06	.28	1.10	.37	-0.90
57. とりつこうかひつこうか	1.08	.34	1.09	.38	1.06	.28	0.58
31. 粟福米福	1.08	.28	1.07	.26	1.08	.31	-0.27
43. 旅人馬	1.08	.33	1.02	.15	1.14	.45	-2.75 **
68. 絵姿女房	1.07	.31	1.06	.26	1.09	.35	-0.88

表 1 (続き)

46. ねずみ経	1.07	.31	1.08	.30	1.06	.32	0.44
49. ねずみ浄土	1.07	.30	1.06	.28	1.07	.33	-0.20
77. さる神たいじ	1.07	.28	1.09	.31	1.04	.25	1.22
7. こんな顔	1.07	.30	1.07	.29	1.06	.32	0.25
72. はちかつぎ	1.06	.31	1.04	.27	1.09	.35	-1.26
40. 地藏浄土	1.06	.26	1.03	.18	1.10	.34	-2.02 *
63. 天人女房	1.06	.31	1.06	.29	1.07	.33	-0.38
2. さるの生き肝	1.06	.27	1.06	.28	1.05	.26	0.34
1. 古屋のもる (もり)	1.06	.27	1.03	.18	1.09	.35	-1.66 †
28. 天道さん金のくさり	1.06	.32	1.06	.32	1.06	.32	-0.13
16. おおかみの眉毛	1.05	.29	1.05	.28	1.06	.32	-0.34
19. 歌い骸骨	1.05	.28	1.04	.23	1.07	.33	-0.84
50. なら梨とり	1.05	.31	1.04	.27	1.07	.36	-0.76
62. まのいい漁師	1.05	.27	1.04	.27	1.06	.28	-0.59
36. 鳥のみ爺	1.05	.25	1.04	.23	1.06	.28	-0.63
65. 手なし娘	1.04	.26	1.02	.15	1.07	.36	-1.34
34. サトリの化けもの	1.04	.26	1.05	.28	1.03	.22	0.49
64. おおみそかの火	1.04	.24	1.03	.22	1.05	.26	-0.60
76. 運のよいなまけ者	1.04	.22	1.03	.18	1.05	.26	-0.65
80. ひたいに柿の木	1.04	.23	1.02	.15	1.05	.30	-0.88
74. かみそりぎつね	1.03	.20	1.03	.22	1.03	.17	0.04
79. 仁王と賀王	1.03	.22	1.02	.15	1.04	.28	-0.57
81. ゆめの橋	1.03	.22	1.02	.13	1.05	.30	-1.19
5. みそ買い橋	1.03	.19	1.00	.00	1.06	.28	-2.45 *
69. 宝化け物	1.03	.19	1.01	.09	1.05	.26	-1.71 †
56. 運定めの話	1.02	.16	1.01	.09	1.03	.22	-1.03
70. 団子むこ	1.02	.16	1.01	.09	1.03	.22	-1.03
4. 犬とねことうろこ玉	1.02	.16	1.01	.09	1.03	.22	-1.03
78. 炭焼き長者 1.02	1.02	.16	1.01	.09	1.03	.22	-1.03
39. 旅学問	1.01	.15	1.01	.09	1.02	.20	-0.62
37. おんば皮	1.01	.13	1.00	.00	1.02	.20	-1.13
平均	1.37	.16	1.36	.14	1.39	.18	-1.27

† $p<.10$ , \* $p<.05$ , \*\* $p<.01$ 

注: タイトルの番号は提示したときの順番を示している。

全 63 作品の平均値 ( $M = 1.31$ ,  $SD = 0.15$ ) 以上の認知度を示した作品は、「金の鳥」、「金のがちょう」、「はちの女王」となっていた。

グリム童話の認知度に学年による差があるかどうか t 検定を行ったところ、「ブレーメンの音楽隊」、「こびとと靴屋」、「おいしいおかゆ」、「しあわせハ

表 2 グリム童話の認知度

	全体 ( $n=224$ )		1 年生 ( $n=126$ )		2 年生 ( $n=98$ )		$t$ 値
	$M$	$SD$	$M$	$SD$	$M$	$SD$	
19. 白雪姫	2.92	.35	2.92	.35	2.92	.34	0.05
45. 赤ずきん	2.90	.39	2.87	.44	2.95	.31	-1.43
1. おおかみと七ひきの子やぎ	2.74	.54	2.77	.51	2.69	.58	1.01
38. シンデレラ (灰かぶり)	2.73	.66	2.70	.70	2.75	.61	-0.54
26. ヘンゼルとグレーテル	2.60	.60	2.57	.61	2.63	.58	-0.76
34. ブレーメンの音楽隊	2.58	.64	2.50	.71	2.69	.53	-2.26 *
59. いばら姫 (眠りの森の姫)	2.41	.75	2.38	.79	2.44	.72	-0.60
32. ラプンツェル	2.13	.74	2.06	.72	2.22	.75	-1.71 †
18. かえるの王さま (王子)	1.74	.79	1.71	.79	1.77	.78	-0.63
54. こびとと靴屋	1.70	.82	1.52	.72	1.86	.88	-2.89 **
6. 金の鳥	1.57	.65	1.56	.65	1.57	.64	-0.09
56. 金のがちょう	1.52	.69	1.45	.66	1.59	.72	-1.36

表 2 (続き)

39. はちの女王	1.33	.61	1.33	.62	1.33	.61	-0.02
57. 親指こぞう (トム)	1.26	.53	1.29	.55	1.24	.52	0.72
24. 七羽のからす	1.22	.50	1.22	.51	1.22	.49	-0.01
60. てんじくねずみ	1.18	.44	1.15	.36	1.21	.50	-0.81
25. 星の銀貨	1.17	.47	1.18	.48	1.16	.47	0.17
20. かしいグレーテル	1.17	.46	1.21	.50	1.12	.41	1.35
27. 三人の糸つむぎ女	1.16	.44	1.14	.42	1.18	.46	-0.67
4. おどっとおどっぼろぼろになった靴	1.15	.43	1.13	.41	1.17	.45	-0.67
2. おいしいおかゆ	1.15	.48	1.07	.34	1.24	.61	-2.70 **
46. 一つ目二つ目三つ目	1.13	.41	1.13	.42	1.13	.39	0.05
30. うさぎとはりねずみ	1.13	.42	1.09	.34	1.17	.50	-1.54
16. 貧乏人とお金持ち	1.10	.33	1.10	.33	1.10	.34	0.03
23. 雪白とばら紅	1.10	.36	1.10	.34	1.11	.38	-0.35
8. 熊の皮を着た男	1.10	.33	1.10	.29	1.10	.37	-0.15
33. 忠臣ヨハネス	1.09	.30	1.07	.26	1.11	.35	-1.03
11. マリアの子	1.08	.29	1.06	.24	1.11	.35	-1.23
12. がちょう番の娘	1.08	.32	1.08	.30	1.09	.35	-0.29
44. マレーン姫	1.08	.39	1.11	.44	1.04	.29	1.33
5. ルンベルシュティルツヘン	1.08	.32	1.06	.23	1.11	.41	-1.35
14. ねことねずみのとも暮らし	1.08	.31	1.06	.23	1.10	.39	-1.11
22. 十二人兄弟	1.08	.31	1.07	.29	1.08	.34	-0.24
47. 三枚の鳥の羽	1.07	.32	1.06	.26	1.09	.39	-0.86
51. しあわせハンス	1.07	.29	1.03	.22	1.12	.36	-2.34 *
36. しらみとのみ	1.07	.30	1.06	.26	1.08	.34	-0.65
35. 森の家	1.06	.29	1.05	.25	1.08	.34	-0.86
52. 千枚皮 (ろばの皮)	1.06	.29	1.05	.25	1.07	.33	-0.62
37. わらと炭とそら豆	1.06	.29	1.06	.30	1.05	.27	0.31
10. ならずもの	1.06	.27	1.06	.23	1.06	.32	-0.16
63. 漁師とおかみさんの話	1.05	.29	1.05	.26	1.06	.32	-0.34
31. ものしり博士	1.05	.28	1.05	.25	1.06	.32	-0.36
55. おいまれズルタン	1.05	.28	1.05	.26	1.05	.30	-0.11
3. ホレおばさん	1.05	.27	1.05	.25	1.05	.30	-0.09
48. 森の中の三人の小人	1.05	.25	1.02	.15	1.07	.33	-1.46
7. つぐみひげの王さま	1.04	.25	1.05	.25	1.04	.25	0.20
48. 森の中の三人の小人	1.05	.25	1.02	.15	1.07	.33	-1.46
7. つぐみひげの王さま	1.04	.25	1.05	.25	1.04	.25	0.20
15. あわれな粉やの若者とねこ	1.04	.26	1.02	.15	1.07	.36	-1.34
43. 金の毛が三本ある悪魔	1.04	.22	1.05	.21	1.03	.23	0.56
53. 鉄のハンス	1.04	.22	1.03	.22	1.05	.22	-0.66
29. 手なし娘	1.04	.24	1.05	.25	1.03	.22	0.53
62. ヨリンデとヨリンゲル	1.04	.22	1.01	.11	1.06	.28	-1.54
41. 死神の名づけ親	1.04	.23	1.03	.22	1.04	.25	-0.31
28. 「おぜんよ したく」と金出しろばと「こん棒出ろ」	1.04	.23	1.02	.13	1.06	.32	-1.47
58. 兄と妹	1.03	.21	1.02	.15	1.04	.25	-0.58
50. かしい百姓娘	1.03	.22	1.02	.20	1.04	.25	-0.58
21. 六人男世界をのし歩く	1.03	.22	1.02	.13	1.05	.30	-1.19
42. いさまいちびの仕立て屋	1.03	.19	1.02	.15	1.03	.23	-0.28
61. こわがることをおぼえに旅に出た男の話	1.02	.18	1.02	.15	1.02	.20	0.11
17. みそざいとくま	1.02	.16	1.01	.09	1.03	.22	-1.03
40. かれい	1.01	.15	1.01	.09	1.02	.20	-0.63
49. 青いあかり	1.01	.15	1.01	.09	1.02	.20	-0.63
9. 鳴いてはねるひばり	1.01	.15	1.01	.09	1.02	.20	-0.62
13. みつけどり	1.01	.15	1.01	.09	1.02	.20	-0.62
平均	1.31	.15	1.30	.14	1.33	.17	-1.67 †

† $p<.10$ , \* $p<.05$ , \*\* $p<.01$ 

注：タイトルの番号は提示したときの順番を示している。

ンス」の4作品において、1年生よりも2年生のほうが認知度が高くなっていた ( $p < .05$ )。全体平均においては10%水準の傾向差が見られ、2年生のほうが1年生よりも認知度が高い傾向にあることが示された。

### 3) リスト以外の作品

リスト以外の作品として挙げられた日本の昔話には、「おむすびころりん (5)」、「かぐや姫 (5)」、「じゅげむ (3)」、「金太郎 (2)」、「一休さん (2)」、「赤いおまんま (1)」、「三年寝太郎 (1)」、「ねずみのよめいり (1)」、「早太郎 (1)」などがあつた(カッコ内の数字は各作品に言及した人数を表す。以下も同様)。他にも、「ごんぎつね (6)」、「泣いた赤鬼 (3)」、「手袋を買いに (1)」、「からすのパンやさん (1)」、「さっちゃんのまほうの手 (1)」、「おしれのぼうけん (1)」などの創作童話や、「いなばの白ウサギ (1)」といった神話への言及もあつた。

また外国の昔話としては、「三びきのこぶた (8)」、「ジャックと豆の木 (2)」、「ハーメルンの笛吹き (1)」、「美女と野獣 (1)」、「長ぐつをはいた猫 (1)」、「はだかの王さま (1)」などのヨーロッパ作品のほか、ロシア民話の「大きなかぶ (2)」、「金の魚 (1)」、モンゴル民話の「スーホの白い馬 (1)」なども挙げられた。その他、「うさぎとかめ (6)」や「アリとキリギリス (3)」、「金のおの銀のおの (3)」、「北風と太陽 (1)」、「ライオンとねずみ (1)」などのイソップ物語や、「人魚姫 (7)」、「親指姫 (6)」、「赤い靴 (4)」、「みにくいあひるの子 (3)」、「マッチ売りの少女 (2)」、「イーダちゃんの花 (1)」、「すずの兵隊 (1)」などのアンデルセン作品も多く言及されていた。アンデルセン以外の創作童話としては、「青い鳥 (3)」、「オズの魔法使い (2)」、「若草物語 (1)」、「あしながおじさん (1)」、「幸せな王子 (1)」、「エルマーの冒険 (1)」、「名犬ラッシー (1)」、「小公女 (1)」、「ジェインの毛布 (1)」、「みつばちマーヤの冒険 (1)」、「三びきのくま (1)」などが挙がっ

ていた。

### 4) 読書体験

子ども時代に「昔話を読んでもらった体験」を尋ねたところ、表3のような結果となった。1年生、2年生とも「ときどきある」が最も多く3割強、次いで「よくある」が3割弱を占めていた。一方、「自分で読んだ体験」については、表4のような結果となった。1年生、2年生とも「ときどきある」が最も多く、4割前後を占めていた。次に多くなっていたのが「少しある」で、両学年とも3割前後を占めていた。各変数を5点満点として平均値を算出したところ、「昔話を読んでもらった体験」は1年生が  $M = 3.76$  ( $SD = 1.04$ )、2年生が  $M = 3.76$  ( $SD = 0.99$ ) となり、両者に有意な差は見られなかった。「自分で読んだ体験」については、1年生が  $M = 3.67$  ( $SD = 0.95$ )、2年生が  $M = 3.76$  ( $SD = 0.94$ ) となり、こちらも有意差は見られなかった。

子ども時代の読書体験が現在の昔話の認知度と関連しているかどうかを調べるために、1年生と2年生のデータを合わせて、相関係数を算出した。その結果、「昔話を読んでもらった体験」については、日本の昔話の認知度との間に弱い正の相関が見られ ( $r = .18, p < .01$ )、子ども時代に読んでもらった体験があるほど、日本の昔話を認知している傾向があることが示された。一方、グリム童話の認知度との間には有意な相関は認められなかった ( $r = .11, n.s.$ )。「自分で読んだ体験」については、日本の昔話の認知度との間 ( $r = .14, p < .05$ )、グリム童話の認知度との間 ( $r = .19, p < .01$ ) に、それぞれ弱い正の相関が認められ、子ども時代に自分で読んだ体験が多いほど、日本の昔話もグリム童話も認知度が高くなる傾向にあることが示された。

なお、日本の昔話の認知度とグリム童話の認知度には強い正の相関が見られ ( $r = .81, p < .01$ )、日本の昔話を知っている人ほどグリム童話も認知している傾向が強いことが示された。また、「昔話を

表3 昔話を読んでもらった体験

		全くなし	ほとんどなし	少しある	ときどきある	よくある	合計
1年生	度数	1	16	31	41	36	125
		0.8%	12.8%	24.8%	32.8%	28.8%	100.0%
2年生	度数	1	8	31	29	27	96
		1.0%	8.3%	32.3%	30.2%	28.1%	100.0%
合計	度数	2	24	62	70	63	221
		.9%	10.9%	28.1%	31.7%	28.5%	100.0%



表4 昔話を自分で読んだ体験

		全くなし	ほとんどなし	少しある	ときどきある	よくある	合計
1年生	度数	2	12	35	51	24	124
		1.6%	9.7%	28.2%	41.1%	19.4%	100.0%
2年生	度数	2	5	30	37	23	97
		2.1%	5.2%	30.9%	38.1%	23.7%	100.0%
合計	度数	4	17	65	88	47	221
		1.8%	7.7%	29.4%	39.8%	21.3%	100.0%

読んでもらった体験」と「自分で読んだ体験」との間には、比較的強い正の相関 ( $r = .46, p < .01$ ) が認められ、読んでもらった体験が多い人ほど自分で読んだ体験も多いことが示された。

## 考察

### 1) よく知られている昔話

日本の昔話のうち、最もよく知られている作品は「桃太郎」であった。全 81 作品の平均値以上の認知度を示したものは、順に「浦島太郎」、「さるかに合戦」、「花さかじいさん」、「つる女房」、「かさじぞう」、「かちかち山」、「こぶとりじいさん」、「一寸法師」、「舌切りすずめ」、「雪女」、「うば捨て山」、「わらしべ長者」、「文福茶釜」、「三枚のお札」、「干支のはじまり」、「さる地蔵」、「はなたれ小僧」、「和尚さんと小僧」、「若返りの水」の 20 作品であった。

これらの 20 作品のうち、ヨーロッパの昔話によくある「主人公が困難に会い、問題を解決し、幸せを勝ち取る」というプロット (向田, 2012) は 3 作品のみに見られた (「桃太郎」、「一寸法師」、「うば捨て山」)。一方で、ヨーロッパの昔話のように英雄的な活躍が強調されたり (河合, 1982)、王侯貴族との結婚による大団円で終わる (小澤, 1999) 作品はほとんど見られなかった。同じハッピーエンドでも、復讐を果たしたり (例えば「さるかに合戦」、「かちかち山」)、危機を脱したり (例えば「三枚のお札」)、特別なアクションはないが、日頃の善行や心がけによって福がもたらされたりする (例えば「浦島太郎」、「花さかじいさん」、「つる女房」、「かさじぞう」、「こぶとりじいさん」、「舌切りすずめ」、「わらしべ長者」、「文福茶釜」、「さる地蔵」) プロットが多いと言える。「主人公が最後に幸せを喪失する」というプロットも 20 作品中 4 作品において見られた (「浦島太郎」、「つる女房」、「雪女」、「はなたれ小僧」)。これらのことは、日本人に好まれる昔話のパターンが複数あることを示唆している

と考えられる。

一方、グリム童話のうち、最もよく知られている作品は「白雪姫」となっていた。全 63 作品の平均値以上の認知度を示したものは、順に「赤ずきん」、「おおかみと七ひきの子やぎ」、「シンデレラ」、「ヘンゼルとグレーテル」、「ブレーメンの音楽隊」、「いばら姫」、「ラプンツェル」、「かえるの王さま」、「こびとと靴屋」、「金の鳥」、「金のがちょう」、「はちの女王」の 13 作品であった。これらすべての作品が、先述した「主人公が困難に会い、問題を解決し、幸せを勝ち取る」というプロットにあてはまっており、そのうち結婚による大団円で終わる作品は 8 作品見られた。「主人公が最後に幸福を喪失する」というプロットは、少なくとも上記 13 作品においては見られなかったが、「主人公の日頃の善行や心がけによって福がもたらされる」という展開は 13 作品中 5 作品 (「シンデレラ」、「こびとと靴屋」、「金の鳥」、「金のがちょう」、「はちの女王」) において見られ、文化を超えた共通特徴であることが示唆された。昔話の多くは、洋の東西を問わず、子どもに対する教訓的意図を含んでおり、それゆえこのような普遍的な特徴も見られるのであろう。

記憶と昔話との関連を探った Norenzayan, Atran, Faulkner & Schaller (2006) によれば、グリム童話のうち、現在よく知られている物語には、“minimally counterintuitive ideas” (予測を超える意外さをもつが、それが過度でない) が含まれており、これが話の覚えやすさにつながっているという。逆に、話に意外性がなかったり、意外性が強すぎたりすると、人々の記憶には残らないようだ。彼らが「成功したグリム童話」として挙げているのは、「かえるの王さま」、「兄と妹」、「ラプンツェル」、「ヘンゼルとグレーテル」、「漁師とおかみさんの話」、「いさましいちびの仕立て屋」、「シンデレラ」、「ホレおばさん」、「赤ずきん」、「ブレーメンの音楽隊」、「金の毛が 3 本ある悪魔」、「いばら姫」、「つぐみひ

げの王さま」、「白雪姫」、「ルンベルシュティルツヘン」、「千枚皮」、「ヨリンデとヨリンゲル」、「しあわせハンス」、「鳴いてはねるひばり」、「がちょう番の娘」、「雪白とばら紅」である。これら21作品のうち、本調査で認知度の高かった作品は「かえるの王さま」、「ラプンツェル」、「ヘンゼルとグレーテル」、「シンデレラ」、「赤ずきん」、「ブレーメンの音楽隊」、「いばら姫」、「白雪姫」、「しあわせハンス」の9作品であり、残り12作品についてはそれほど高い認知度になっていなかった<sup>注2</sup>。翻訳作品の場合、記憶しやすい要素だけでなく、各作品が当該文化圏でどれほど紹介されているか、すなわち絵本やテレビアニメ、映画などを通して接する機会がどれほどあるかによっても、認知度が変わってくるのではないと思われる。とりわけ商業的に成功しているディズニー作品の影響は小さくないと思われるが、その検討は別の機会に譲りたい。

## 2) 学年による違いと読書体験

学年による違いについては、日本の昔話で9作品、グリム童話で4作品において2年生のほうが1年生よりも認知度が高くなっていた。また、グリム童話の全体平均において傾向差が見られ、2年生のほうが高い傾向にあることが示された。このことは、大学での保育に関する学びや実習等の体験によって、学生の昔話に関する知識が増す可能性を示唆している。昔話の認知度と子ども時代に昔話を読んでもらった体験、読んだ体験との関連はごく弱いものにとどまっていたことから、その後の学びや経験によって昔話の知識は変化していく可能性があると言えるだろう。

## 3) 今後の課題

本調査では、保育を専攻する短期大学生を対象に調査を行ったが、専攻が異なり、日ごろ昔話に触れる機会のない学生（男子学生を含む）の場合は、昔話の認知度が異なっている可能性がある。今後、調査対象を広げ、今回の結果の妥当性を確認していく必要があるだろう。また、認知度を調べるにあたって、今回は昔話のタイトルだけを提示したが、「タイトルだけでは思い出せない」、「内容は覚えているが、このタイトルかどうかかわからない」といった戸惑いも少なからずあったようだ。認知の正確さを追求するには、あらすじを書

いてもらうなどの方法も考えられるが、この場合は作品数を絞り込む必要があり、多くの作品の認知度を調べるのには向かない。複数の方法を用いて検討すれば、より詳細に昔話の認知度を明らかにすることができるだろう。さらに、グリム以外の作品の認知度やメディア接触（映画やアニメ等）との関連についても調べていきたいと考える。代表的な昔話を抽出し終えた後は、内容分析を通して、Norenzayan et al. (2006) が指摘するような minimally counterintuitive ideas が日本の昔話にも共通して見られるのかどうか、文化特有のプロットが存在するのかどうかについて、検討していきたいと考えている。

## 注

注1: グリム以外にも、フランスのシャルル・ペローの作品集や、イギリス、アイルランド、イタリアなどの昔話もあるが、内容的に類似した作品も見られることから、今回はグリム童話のみを取り上げた。

注2: 認知度の高くなかった作品のうち、「鳴いてはねるひばり」はペロー童話では「美女と野獣」として紹介されている。調査用紙でそのことへの言及を忘れたため、今回は認知度が低くなったが、付記すれば認知度は高まったのではないと思われる。

\* 本研究は平成23年度科学研究費基盤研究(C) (課題番号22530689) の助成を受けて行われた。

## 引用文献

- 東 洋 (1994) 日本人のしつけと教育 東京大学出版会  
河合隼雄 (1982) 昔話と日本人の心 岩波書店  
McClelland, D. C. (1961) The achieving society. New York: Van Nostrand.  
水野智美・徳田克己 (2010) 幼児における「童話・昔話の絵本離れ現象」2－昔話に関する子どもの理解を中心に－ 絵本学会 NEWS No.40 p.14  
Mukaida, K. (2010) Cultural scripts in individual narratives and traditional folktales. XXth Congress of the International Association for Cross-cultural Psychology, Melbourne, Australia.



- Abstract Book p.133
- Mukaida, K. (2011) How happiness is depicted in European and Japanese folktales. 14th European Congress of Psychology, Istanbul, Turkey, Abstract Book p.407
- 向田久美子 (2012) 日欧の昔話に見る幸福観 日本発達心理学会第 23 回発表論文集 p.119
- Mukaida, K., Azuma, H., Crane, L. S., & Crystal, D. S. (2010) Cultural scripts in narratives about future life: Comparisons among Japanese, Chinese and American students. *The Japanese Journal of Personality*, 19, 107-121.
- Mukaida, K., Crystal, D. S. & Azuma, H. (2011) Cultural scripts in individual narratives about past efforts: Comparisons among Japanese, Chinese and American students. International Association of Cross-cultural Psychology Regional Conference, Istanbul, Turkey, Abstract Book p.113
- Norenzayan, A., Atran, S., Faulkner, J., & Schaller, M. (2006) Memory and mystery: The cultural selection of minimally counterintuitive narratives. *Cognitive Science*, 30, 531-553.
- 小澤俊夫 (1999) 昔話の語法 福音館書店
- 鈴木満 (2004) 昔話の東と西 比較口承文芸論考 国書刊行会
- 高橋 晃 (1999) 映画「フランダースの犬」の日米比較－主題変容の文化的要因－ 武蔵野女子大学紀要, 34, 117-126.
- 高橋 晃 (2000) 「にんぎょ姫」と「リトルマーメイド」－映画化による原作の変更と文化的スクリプト－ 武蔵野女子大学短期大学部紀要, 1, 93-103.
- 徳田克己・水野智美 (2010) 幼児における「童話・昔話の絵本離れ現象」1－20 年間の変化を追う－ 絵本学会 NEWS No.40 p.14
- Tsai, J.L., Louie, J., Chen, E., & Uchida, Y. (2007) Learning what feelings to desire: Socialization of ideal affect through children's storybooks. *Personality and Social Psychology Bulletin*, 33, 17-30.
- 塘利枝子・真島真里・野本智子 (1998) 日英の国語教科書にみる対人的対処行動－内容分析的検討－ 教育心理学研究, 46, 95-105.